

決 議

永年にわたる低医療費政策と小泉政権下の“聖域なき構造改革”以来、毎年続く社会保障費の抑制により、医療や介護、福祉の現場は、悲鳴をあげている。医師不足による診療科閉鎖は、小児科や産科に限らず、内科をはじめ他の部門にまで拡大している。既に、救急医療など国民が満足に医療を受けられない事態が生じており、地域医療の崩壊が現実のものとなっている。また、高齢者や低所得者など経済的弱者が必要な医療を受けにくい状況になっている。

このまま社会保障費の抑制が続けば、地域医療は完全に崩壊し、いつでも、どこでも、安心して医療を受けることができる日本の国民皆保険制度は形骸化してしまう。

医療崩壊を食い止め、国民が安心して安全な医療を受けるための確固たる医療提供体制を再構築するためには、十分な社会保障費の確保が不可欠である。

すべての国民が健康で安心して暮らせるよう下記事項を強く求める。

記

- 一． 社会保障費の年 2,200 億円削減を撤廃すること
- 一． 国民の生命と健康を守るための医療費財源を確保すること
- 一． 社会保障の理念に基づく国民皆保険制度を堅持すること

平成 20 年 9 月 27 日

医療崩壊を阻止する城東区民集会

平成20年9月27日開催

「医療崩壊を阻止する城東区民集会」構成団体

	団体名	会長名
1	城東区老人クラブ連合会	松葉 常子
2	城東区PTA協議会	早矢仕 隆男
3	城東区地域女性団体協議会	矢田貝喜佐枝
4	城東区寝たきり予防推進協議会	
5	城東区食生活改善推進員協議会	広瀬 功子
6	城東区歯科医師会	福本 和夫
7	城東区薬剤師会	渡辺 一雄
8	城東区医師会	堤 俊仁

以上 8 団体（敬称略・順不同）

医療崩壊を阻止する
城東区民集会

